



東っ子便り

令和4年7月20日
第8号

大津町立大津東小学校
校長 太田黒 保宏

前期前半が終了しました。明日から夏休みです！



高齢者施設や医療機関等でのクラスターの報道がなされ、一向に終息が、見えない新型コロナウイルス感染症。ここ最近、熊本県内の新規感染者数は、平日平均2000人超が当たり前のようになってきています。

4月からこれまで、台風による臨時休業（7/5）が1日あっただけで、行事等も大方予定通り実施することができました。子どもたち一人ひとり、この4カ月弱の学校生活において、様々な力を付けることができました。

そして、1学期後半には、運動会（9/17・土）、見学旅行や修学旅行等も予定しています。36日間の夏休みの後、新型コロナウイルス感染症が収束していることを願うばかりです。

さて、子どもたちにとって、とても楽しみな夏休みになります。そこで、ぜひどんな夏休みにするのか、各家庭で話し合っていたいただきたいと思います。

ご家庭で、どんな夏休みにするか、ぜひ話し合ってください！



“前期前半の終了式”

本日（7/20）、前期前半終了式を行いました。

終了式の時間帯は、丁度アメリカではメジャーリーグオールスター戦がやっている時間帯でした。そこで、今回、二刀流として多くの期待を集めている大谷翔平選手について話をしました。



「大谷選手は、走攻守に優れ、特に104年前のベーブルース選手以来となる“2桁勝利&2桁ホームラン”の記録に並ぶ可能性がある。この歴史に名前を残すような功績と共に、アメリカでは大谷選手の人間性が高く評価されている。当たり前のこととして、グラウンドのゴミを拾うことや、ファンの声にしっかりと答え、パフォーマンスをすることなど、その振る舞いに称賛を浴びている。そんな大谷選手は、小学2年生の時、友達から誘われたのをきっかけに野球を始めたそうだ。その後、夢を叶えるために、“目標やイメージを持つこと”を大切にしているという。“もっと速いボールを投げたい、もっと遠くにボールを飛ばしたいと、小学校の頃に思い描いたシンプルなイメージが、現在の二刀流というスタイルにつながっている”とのことである。36日間もある夏休みに、観察、読書、スポーツなど、日頃できないことにチャレンジしてはいかがだろう。やってみたら、自分の得意なことや興味・関心が広がるかもしれない。有意義な夏休みにしてほしい。」

今回の話から、この夏休みに何かしよう、または何かしたいと考えた人もいます。子どもたちの可能性は無限ですし、自分の夢を切り開いてほしいと期待しています。夏休み明けに、子どもたちが更にたくましく成長した姿で登校してほしいと思っています。



“夏バテ防止”を図って～まごわやさしい～

大学の医師の方から、次のようなお話を伺いました。

「脳内物質の“セロトニン”が、満足、安定、安心、痛みへの強さ、（失敗から立ち直り、もう一度頑張ろうとする）回復力を作り上げる。このセロトニンの分泌を豊かにするには、『毎日同じ時刻に起き、同じ時刻に寝ること』、『朝食をとること』が大切です。」

朝食での菓子パンやケーキは、時間のない時に都合がよいものです。私にも経験があります。しかし、そこにはイライラや無気力を生み出すという大きな落とし穴もあるようです。従って、朝食としての菓子パン等は、糖分の過剰摂取となるため決して勧められません。その代わりに、時間が無い時は、バナナなどが最適とも言われています。

また、バランスの良い食事をするために、摂取したい食材の頭文字をとって“まごわやさしい”とよく言われます。栄養素の違う7種類の食材をまんべんなく摂取することで、健康的な食生活になると言われます。

夏場は、「食事・運動・睡眠」のバランスが崩れると、集中力を欠き、意欲が減退しがちになります。そこで、子どもたちの食事から見直していくことも必要かもしれません。



毎週水曜日の放課後は、先生たちの研修

先生方は、今年も毎週水曜日の放課後に研修を行っています。昨年度の成果と課題をもとに、次のような研修テーマ等を設け実践しています。これまでに、5・6年生の国語（物語）と2年生の道徳の授業研修を行ったところです。これからも確かな学力の定着等の為に、研究を深めていきます。

令和4年度 研究テーマ「**小さな学校**」だからできる教育活動の展開
～「**東小かぜのご学習モデル**」を用いた国語科における主体的・対話的で深い学びの創造～

【仮説1】単元終了時に身に付けたい力を児童と共有し、児童の思考を促すような「東小かぜのご学習モデル」を具体的に展開することで、児童は意欲的・主体的に学習に取り組むだろう。

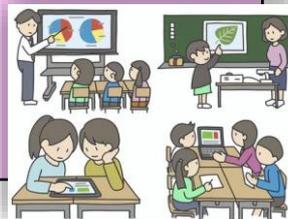
（研究の視点① 学習過程の工夫）

- ア 課題提示の工夫(子どもたちの学習意欲の向上)
- イ 課題に対する自分の考えの記録(書く)
- ウ 協働学習の工夫(学習リーダーの育成)と板書の構造化
- エ 自分や他者の伸びを実感できる振り返り

【仮説2】対話活動を活発にするための手立てを工夫すれば、自分の考えを持ち、交流することを通してそれを広げ、深めていく児童の育成へとつながるだろう。

（研究の視点② アクティブ・ラーニング）

- ア 考えを持つ工夫(書く活動の工夫)
- イ 考えを広げる工夫(学習形態の工夫)
- ウ 考えを深める工夫(発問の工夫)
- エ 対話のスキルアップ(話形の提示)



小5・6年の授業



小2の授業

退任式～東小での出会いを大切に～

8月2日から、田中先生が、本校に戻ってきていただけることとなりました。子どもたちも職員も待ち望んでいたため、とても嬉しく思います。（※次回号に記載）

しかし、これまでお世話になった堀口先生が退任されることとなりました。東小では僅か3カ月程でしたが、多くのことをご指導いただきました。これからも、運動会など子どもたちの成長を参観いただきたいと思います。大変お世話になりました。



大津東小ホームページもご覧ください！

大津東小学校 検索

